

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	SDGs達成の担い手育成 (ESD) 推進事業			担当部局	国際統括官付		作成責任者		
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	国際統括官付		国際戦略企画官 白井俊		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	ユネスコ活動に関する法律 (第4条)			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	持続可能な社会の構築に貢献するため、SDGs (国連持続可能な開発目標) の視点を組み込んだ教育活動 (ESD) を支援することにより、学校・大学をはじめとした国内の教育現場におけるSDGs達成の担い手の育成を推進する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	学習指導要領において、持続可能な社会の創り手の育成が学校に求められる役割と明記されたことや、国連及びユネスコにおけるESDが全てのSDGs達成に向けた鍵であることを示した「持続可能な開発のための教育:SDGs実現に向けて (ESD for 2030)」の採択を受け、SDGs達成の担い手を育む多様な教育活動を支援する。具体的には、SDGsの視点を組み込んだカリキュラム・学習評価の開発や、持続可能な社会の担い手を育む教師の育成、それら様々な取組の普及、啓発等を実施する。 補助率:定額								
実施方法	直接実施、補助								
予算額・執行額 (単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	54	50	50	44	51		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	0	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	0	-	-	-	-		
		予備費等	0	-	-	-	-		
		計	54	50	50	44	51		
	執行額		48	43	41	-			
	執行率 (%)		89%	86%	82%	-			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		89%	86%	82%	-			
令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	ユネスコ活動費補助金	40	48	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。					
	職員旅費	1	1	※異なる世代や多様なステークホルダーとの協働のための活動に係る補助金を増額					
	委員等旅費	1	1						
	諸謝金	0.5	0.5						
	庁費	0.2	0.2						
	計	44	51						
活動内容 (アクティビティ)	国内の教育現場における多様な教育活動 (ESD) を実施・支援することによりSDGsの達成の担い手に必要な資質・能力の向上を図る。								
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	SDGsの達成の担い手に必要な資質・能力の向上活動の実施	採択事業者数	活動実績	件	14	13	14		
			当初見込み	件	14	13	14	12	12
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	執行額 / プロジェクト数	単位当たりコスト		百万	3.5	3.3	2.9	3.6	
		計算式	百万/件数			49/14	43/13	41/14	43.6/12

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標		目標最終年度	
								4年度	年度	-	年度
参加者数（年度内延べ人数）を23,500に向上させる		本補助事業によって実施される研修会、セミナー、ワークショップなどの事業への参加者数（年度内延べ人数）	成果実績	人	29,828	13,535	18,061				-
			目標値	人	23,500	23,500	23,500	23,500		-	
			達成度	%	127	58				-	
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	補助事業者からの報告に基づく数値										

点検・改善結果	点検結果	事業の効率性や有効性について、事業経費の合理性・必要性を厳正に審査した上で不用率を低く保つ、成果目標を達成するなど、成果が出た。
	改善の方向性	今後実施状況等を踏まえ必要に応じてアウトカムの設定について見直すと共に、事業の着実な実施及び適切な予算執行に努める。

外部有識者の所見

外部有識者による点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業部内改善	本事業は、現状の成果指標が、事業概要に定める「国内の教育現場におけるESDを推進する」を図るための妥当な指標であるか検証を行うべきである。
---------	---

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

改年善度内検	本事業は、事業概要に定める「国内の教育現場におけるESDを推進する」を図るため、国内の教育現場においてSDGsの普及、啓発等を行うことを目的としていることから、そのことを本事業によって実施される研修会、セミナー、ワークショップ等の事業への参加者数をもって測るため、現状のアウトカムの指標を設定している。事業の成果を適切に図るため、事業目的及び事業目的に対応した指標が設定されているかについては引き続き検証を行う。
--------	--

備考

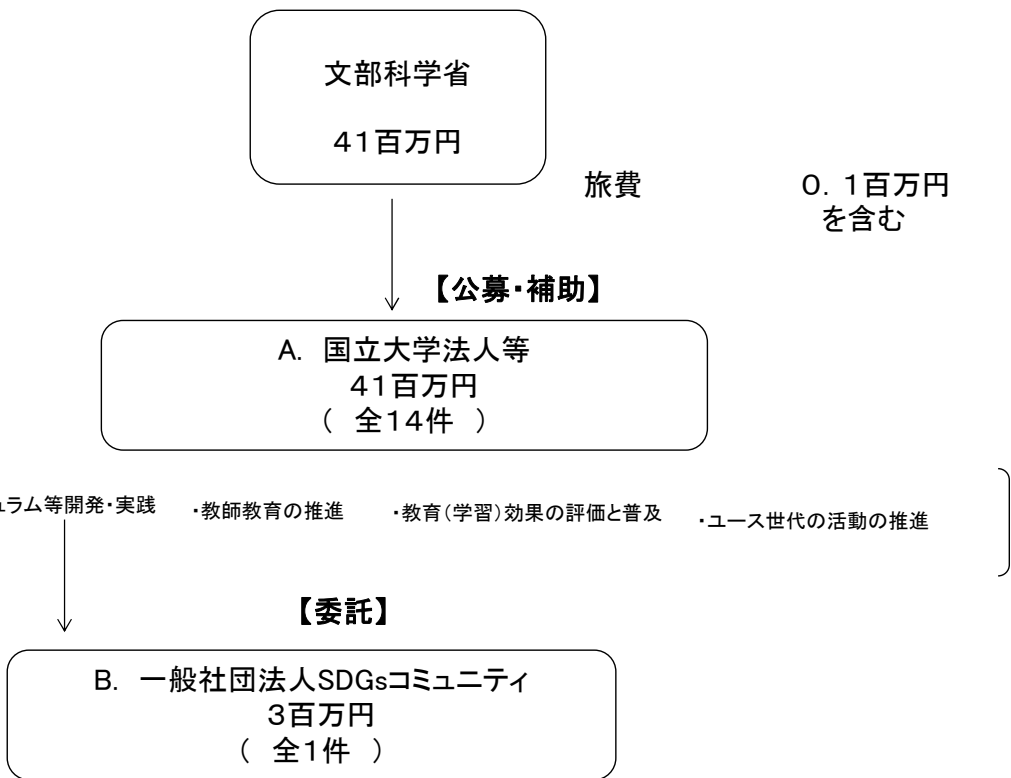
【成果物について掲載しているHPのURL】
 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター <https://www.accu.or.jp/programme/project/esd/>
https://www.accu.or.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/hyouka_2021_A3.pdf
 金沢工業大学 <https://www.kanazawa-it.ac.jp/sdgs/>
 国立大学法人東京学芸大学 <https://www2.u-gakugei.ac.jp/~globe/>
 国立大学法人愛知教育大学 <https://www.sdgs.aichi-edu.ac.jp/>
 国立大学法人静岡大学 <https://knotworklab.com/>
https://www.nhdzoo.jp/learning_program/index.html
 国立大学法人広島大学 <https://unesco16.hiroshima-u.ac.jp/>
 国立大学法人金沢大学 <https://esd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>
 国立大学法人宮城教育大学 <http://xs269206.xsrv.jp/touhoku/>
 公益財団法人京都環境保全活動推進協会 <https://kamadoki.net/>
 公益財団法人日本極地研究振興会 <https://kyokuchi.or.jp/kids/>
<https://kyokuchi.or.jp/kids/?p=697>
https://kyokuchi.or.jp/kids/?page_id=1358
 株式会社タカラトミー https://www.takaratomy.co.jp/company/social_contributions/educational/online/
 国立大学法人奈良教育大学 <https://kinkiesd.xsrv.jp/>

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-		
平成24年度	-		
平成25年度	-		
平成26年度	新26-0046		
平成27年度	0436		
平成28年度	0419		
平成29年度	0427		
平成30年度	0431		
令和元年度	文部科学省 - 新31 - 0024		
令和2年度	文部科学省 0424		
令和3年度	2021 文科 20 0449		

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・用途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費	賃金、諸謝金、旅費、物品費、消耗費、印刷製本費、通信運搬費、借損料、会議開催費、雑役務費	5			
計		5	計		0

